

「第3回彩の国新人王」

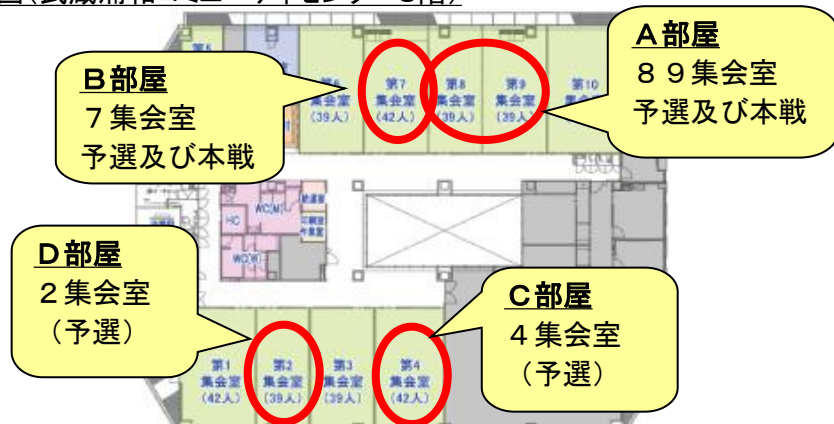
日時:2019年8月12日(月・祝)

開催場所:武蔵浦和コミュニティセンター

主催:JQA国際クイズ連盟日本支部 AQL全日本クイズリーグ実行委員会

後援:埼玉県教育委員会、さいたま市教育委員会

会場概略図(武蔵浦和コミュニティセンター8階)

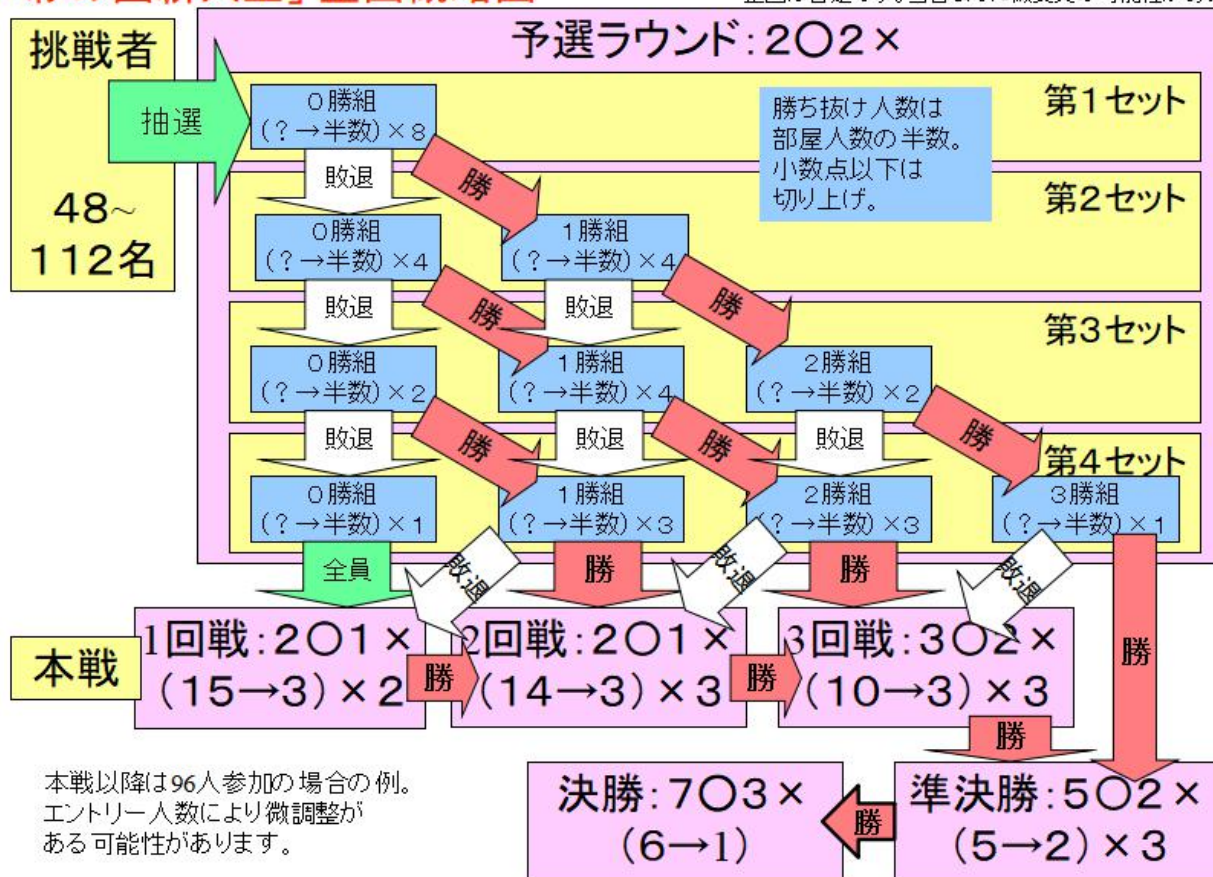


埼玉県マスコット「コバトン」

スケジュール	
9時0分-10時00分	企画準備、フリバ(過去問などを使って早押しクイズを気軽に行うこと)
10時00分-10時30分	受付@89集会室、時間が余ればフリバ
10時30分-10時45分	オープニング@89集会室
10時45分-12時45分	部屋別予選@2、4、7、89集会室 (昼休み、人数が多い場合789連結)
13時40分-16時00分	本戦、終了後フリバ、16:40に片づけ

「彩の国新人王」企画概略図

企画は暫定です。当日までに微変更の可能性があります。



部屋別予選【202×クイズ】

- ・ 2問正解勝ち抜けで、2問失格の早押しクイズを4セット行う。4セットの勝利数に応じて、本戦のスタート場所が変わる。
- ・ 各セット「参加人数÷2(小数点以下切り上げ)」人が勝ち抜ける。勝ち抜けると「1勝」。
- * 10人なら5人抜け、11人なら6人抜け。
- ・ 1セット目の組み分けはランダムに決定。2セット目以降は、「同じ勝利数」同士で対戦が行われる。
- ・ 問題数は1・2セット合計、及び3・4セット合計で各150問。万一不足した場合は「abc search」サイトからランダムに出題。

1セット目	各部屋で前半組、後半組に分かれ、クイズを実施。
2セット目	1セット目と同じ部屋にて、「1セット目の勝利組」「1セット目の敗退組」の順に実施。 勝ち抜け順(敗退者はくじ)でカードを受け取り、3セット目の部屋を確認。
3セット目	「2勝0敗部屋(A部屋)」「1勝1敗部屋(BC部屋)」「0勝2敗部屋(D部屋)」に分かれ、前半組後半組でクイズ。
4セット目	3セット目と同じ部屋にて、「3セット目の勝利組」「3セット目の敗退組」の順に実施。 勝ち抜け順(敗退者はくじ)でカードを受け取り、本戦の組み合わせを確認。

本戦【第3回彩の国新人王決定戦】

- ・ 皆が見守る舞台上にて、シンプルな早押しクイズで優勝を決定。Nポイント勝ち抜け、M回誤答失格の「NOM×クイズ」を行う。
 - ・ 予選結果に応じて序盤はシードとなる。決勝まで勝ち進み勝利した者が、第3回彩の国新人王となる。ただし、勝者が大学生以上だった場合、大学生以上全員の解答権を無しにした上で、高校生以下のチャンピオンが決まるまで試合を続行する。
- 【本戦の人数絞り】(以下、予定。当日の参加人数により微調整が入る可能性あり)

1回戦	201×:(15→3)×2	予選0勝及び1勝の者が参加。
2回戦	201×:(14→3)×3	1回戦の勝者と、予選2勝の者が参加。
3回戦	302×:(10→3)×3	2回戦の勝者と、予選3勝の者が参加。
準決勝	502×:(5→2)×3	準々決勝の勝者と、予選4勝の者が参加。
決勝	703×:6→1	準決勝の勝者が参加。

注意

- ① 本大会は「第2回テッペン東海四県学生向け個人戦(10/20開催)」など、複数の大会と問題を共有しております。大会後も「解禁」のアナウンスがあるまで、出題された問題をネットに書いたりしないようにお願いします。
- ② 部屋移動は、指示があつてからお願いします。他の部屋に誤って入らないようにお願いします。
- ③ 共用スペースで大きな声を出して騒がないようにお願いします(以前嚴重注意を受けています)。
- ④ 問題集頒布は、「クイズの冊子を原価程度で渡す」ことは認めます。ただし、進行の邪魔にならないようお願いいたします。
- ⑤ 今大会は複数の会場を行き来します。荷物・特に貴重品は、必ず自分で管理してください。
- ⑥ 飲食は可能ですが、ごみを必ず持ち帰るようお願いいたします。
- ⑦ 出題者が「問題」と言ったら、問題を読み始める合図です。お静かにお願いいたします。
- ⑧ 観戦中「答えを口に出して言う」「早押しボタンを押すフリをする」行為は、クイズの進行の妨げとなりますのでご遠慮ください。(観戦時の早押しボタンを押すフリは「空押し」と呼ばれ、大半のクイズイベントでは厳禁となっております。)

正誤判定基準

- ・シンキングタイムは、「ボタンが付いてから」5秒間(注:正確に5秒を判定するのは難しく、判定者により1カウントが1秒より長いもしくは短い場合がありますが、あくまで「正誤判定の指によるカウント」を基準とします)。
- ・問題を読み終えてから3秒経過でスルー(無効)扱い。3秒後ブザーを押すが、ブザーによって押したボタンのランプが消された場合、解答権は無効とします。
- ・解答が正解に限りなく近いがそのままでは正解にならない場合(近い遠いは正誤判定者の判断)、正誤判定者は「もう1回」と言って、解答者の再解答を促す。(この場合、解答者は最初に言った答えをそのまま言わず、別の答えを答える)。
- ・答えが聞き取れなかった場合は、正誤判定が「聞こえません。」とコール。解答者ははっきりと大きな声で、「最初に言った答えと同じ答え」を答えるものとします。最初に言ったのと違うことを言うてはいけません。
- ・東洋人名(日本・韓国・中国・台湾など漢字文化圏の国)は、フルネームでの解答に限り正解とします。
- ・西洋人名は、基本的にファミリーネームのみでOK。ただし、明らかにフルネームを要求される問いは例外とします。
- ・複数のものから一つだけを答える問題の場合、問題文のままの順序で全てを答えた場合は正解とするが、それ以外の場合不正解扱いとします(例:「天文単位とは、太陽とどここの間の距離でしょう?」Ans.地球→この問題の場合、「地球」「太陽と地球」は正解、「太陽」「地球と太陽」は不正解とします。)
- ・都道府県名と都市名の両方を答えた場合、都市名の方を答えたものとみなします(通常は、より範囲の狭いほうを答える意思だと解釈するのが妥当だから)。都道府県名を答えさせる問題の場合は、不正解として扱います。(「山口県」が答えのときに、「山口県下関市」と解答したら、不正解。)国名と都市名の扱いもこれに準じます。